

議題	第12回運営推進会議
日時	2024年2月22日(木) 10:30~11:15
場所	デイサービス山風木
出席者	(順不同敬称略) 三島包括支援センター K1様 デイサービス山風木利用者様ご家族 K2様(奥様) S様(妹) デイサービス山風木センター長 渡部浩考 デイサービス山風木総括 渡部美保子 デイサービス山風木職員 臼井久美子 (議事録作成者) 渡部浩考 (議事進行者) 渡部美保子
会議の詳細	
<p>● ごあいさつ (センター長 渡部浩考) ～出席者のご紹介、本会議の趣旨(目的)について～ 情報交換の場でもありますので、いろいろと教えてください。</p> <p>● デイサービス山風木の運営状況 (センター長 渡部浩考)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ R6.3.1 付けで指定更新の申請をしています。6年が経過して2期目の運営が始まります ・ ご利用状況の報告 →定員12名に対して平均11名ぐらいの利用となっています。 →要介護1・2の方の利用が多いです。身体は動くが記憶の課題を持たれている方が中心ということになります。 <p>● 今後について (センター長 渡部浩考)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナが5類扱いとなり、活動的な時間を提供しやすくなりました。 ・ 初期対応のノウハウも蓄積されたので上手に運用していきます。 ・ BCP(事業継続計画)の策定で、緊急時の対応も整理されてきました ・ 体制についてはおかげさまで維持できている。 <p>● 動画「安心してらせる街づくり」 認知症の現実を踏まえた街づくりの事例を動画で紹介 ご家族 K2様 認知症サーポーターが富士宮市では2万人以上いるんですね。すごいですね。 統括 渡部 後ほど、包括の久保田さんからも補足の情報をいただきましょう。</p>	

● デイサービス山風木の活動（総括マネージャー 渡部）

- ・直近の行事や活動の紹介 →活動の写真をプロジェクターにて投影

総括 渡部

山風木に来られている利用者様それぞれが様々な家族事情や生活事情を抱えています。デイサービスに来られている時だけでなく、家に帰ってから、デイを利用しない日なども想定して生活全般に意識を向けて支えていこうと考えております。

そのためには、日々の学びも重要ですしケアマネさんを含めていろいろな連携も必須だと考えています。オープンに情報を発信していくことも重要です。

● 意見交換（話題ごとに整理して記録）

<ご家族から>

ご家族 S様

姉は器用なので以前は西小の生きがい教室にも通ってちぎり絵などもやっていました。こちらでもそういった活動に取り組んだりできているようなので良かったです。

障子の張替えもやったのですね。自宅では数年に1度くらいしかやらないですが、本人はやれば出来るということで、こういった取り組みも身近な取り組みですが大切です。

ご家族 K2様

昔取った杵づかというやつですね。お子さんが写真に映っていますね。

総括 渡部

以前、在職していた職員が子どもを連れて遊びに来てくれました。子供のパワーはすごいです。利用者様も子どもがいると心がウキウキしているのが伝わってきました

ご家族 K2様

子どもからは元気がもらえますからね。

職員 白井

庭に栗の木があるので、時期になると皆さんで栗を探します。今年はあまり取れなかったなので、サツマイモを足して栗ご飯をつくりました。

<地域の情報>

ご家族 S様

私も西小の生きがい教室に顔を出していますが、少し「認知症なのかな？」という人も見かけるようになってきました。みんな少しずつ老いてきているということです。教室を担当してくれる先生や予算などの問題もあるのだと思いますが、教室の開催頻度は減少しています。居場所が減っていくことを危惧しています。

家では中々かまってあげることも出来なかつたりするので、デイサービスは大事な居場所になっていると思います。

ご家族 K2 様

夫は子供たちにシャギリを教えたりしていました。割と最近まで関わっていました。そういう関わりの機会も時代とともに変化してきています。昔のように「コラー！」なんて怒ったら、今は注意されてしまいますね。

総括 渡部

三島のシャギリの活動写真をタブレットでご案内したら、興味津々でタブレットの写真を見られていましたよ。頑張って取り組んだ思いはずっと残っていますね。

山風木は男性の利用者様が多いです。多様な人が空間に存在することはとても良い刺激にもなります。隣の保育園とも交流をすることがあったのですが、コロナで中断してしまいました。残念です。

加屋町にある「お店」の方たちは認知症への理解も深くて、いろいろな視点で見守ってくださっています。お買い物に來られた方に対しての対応も非常に素晴らしい対応をしてくださり、「同じものを買っているけど、大丈夫かな？」というような温かい視線で声をかけてくださっています。地域とともに生活を支えあっていく象徴的なことだと思います。

包括 K1 様

山風木さんは季節感や自然を上手に活用してサービスを提供してくださっていると思います。先ほどの地域活動の件ですが、三島市でも「認知症サポーター」の講座は行っています。集合開催の案内は広報三島に掲載されます。また、依頼を受けて出張開催のような対応をしたりすることもあるようです。

認知症家族の会のメンバーが集まって楽寿園に出かけるというような企画もあつたりしますので、活用していただけると幸いです。

総括 渡部

2025年には認知症の方が700万人になると予想されています。「認知症は本当に病気なのかな？認知症は社会の一部と捉えることもできそうですね」と話をされるお医者様もいます。デイサービスの事業所として出来ることは限られると思いますが、社会の一員としてアンテナ高く情報を集めながら、地域づくりのお手伝いもしていきたいと思います。

センター長 渡部

定期的にお話を伺えると自分たちの立ち位置の確認もできます。また、機会がありましたら情報交換にご協力をよろしくお願いいたします。次回は令和6年8月の開催を予定しています。本日はありがとうございました。